



あのとときの常呂・写真館

VOL 53

(1949年)

昭和24年6月1日

常呂村役場日吉支所落成の頃の日吉あれこれ

常呂村役場日吉支所

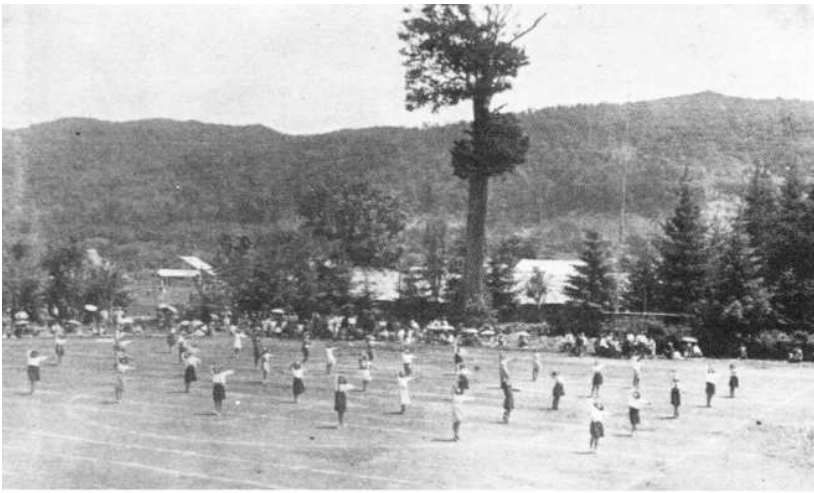


▶戦後間もない昭和22年8月16日に、日吉郵便局が集配局となり、地域の通信機関として住民に利用され、翌23年に日吉澱粉工場が操業開始、そして、地域住民の便益と村行政の円滑な運営を行うため、昭和24年6月1日に常呂村役場の日吉支所が落成し、同月16日から簡単な役場の事務を取り扱うようになりました、同じ年の5月には農協の総会で日吉に農機具工場の設置を決め、11月15日、農協の日吉支所も開設します。

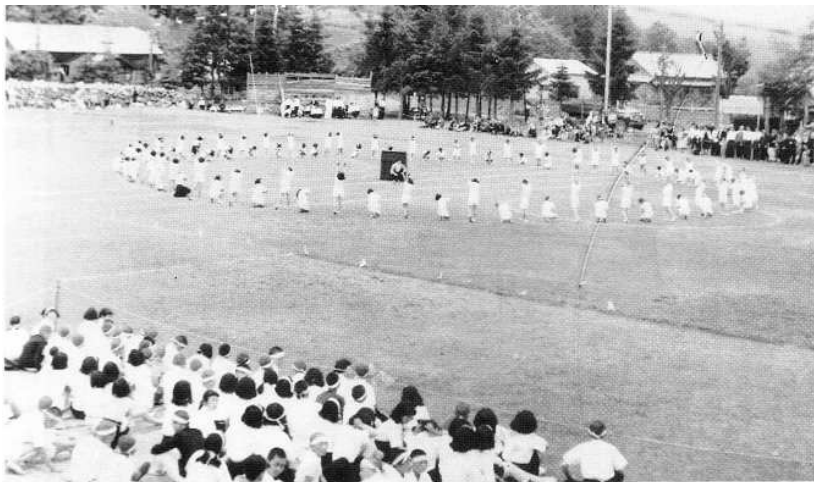


▶今回は、日吉地区の昭和20年代を、常呂図書館にある写真で紹介します。

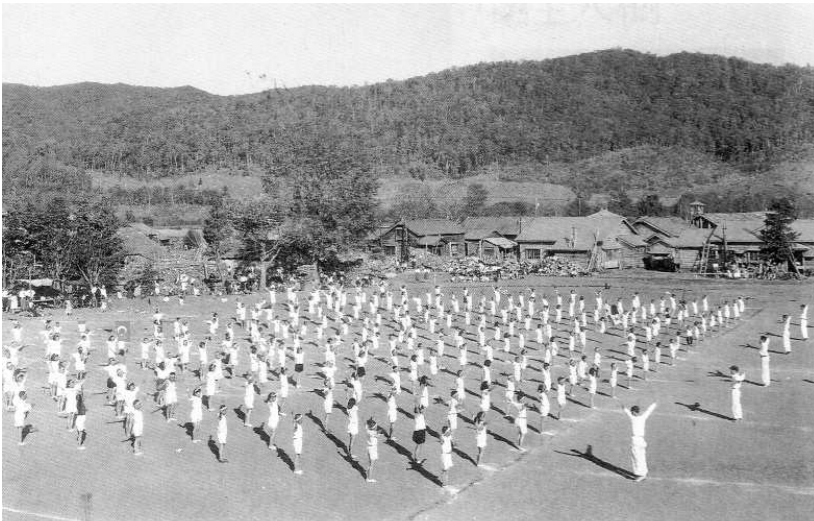
*左は、昭和23年12月21日に操業を開始した日吉澱粉工場の職員



昭和23年 日吉校シンボルの桂の大樹の前で女生徒の遊戯（60周年記念誌より）



昭和25年 オルガンの伴奏で遊戯をする小学生



昭和28年 小中学校児童生徒235名によるラジオ体操

決戦したこともあり、終日楽しかったものです。…遊戯はピアノがないので、オルガンをグラウンドの真ん中に出し、それを伴奏にしたものでした」 *左下は昭和28年

*この3枚の写真は、昭和20年代の日吉小中学校の運動会です。日吉小学校開校80周年記念誌「山なみ 川なみ」によると、在籍数は、昭和20年の241人をピークに、昭和23年から30年までは150-160人という大人数でした。鉄山の存在が大きかったのでしょう。

*左上：昭和23年の運動会の写真にある桂の大木は、老木になったこととグラウンド拡張のため、昭和28年に切り倒されました。なかなか倒れず、全校生徒が運動会の綱引きロープで引っ張ったというエピソードが残っています。

*左：昭和25年の運動会
この年、新任教師として赴任した方が運動会の思い出を記念誌に綴っているので紹介します。
「…春の運動会は地区合同で、鉄山の従業員、青年団、地域を挙げての行事でした。他校とのリレーは午前中の花形で、応援にも熱が入り、生徒も真剣そのものでした。それが終わると昼食が始まり、酒も入ってくる。ほどほどに酔いが回り、地域対抗になるとなかなか進行しない。審判が大変で、綱引き大会は勝負が長引き、電灯をつけて

※「あのときの常呂・写真館」VOL 25：昭和10年9月16日／手師学郵便取扱所開始、VOL 33：昭和44年9月30日常呂町役場日吉支所落成もご覧ください。



*左の写真は、昭和24年5月12日、常呂川に架かる日吉橋が氾濫による増水で流失したときのもの。翌25年5月12日に新しい橋が完成し、渡橋式をしています。

*日吉橋は、その後、昭和33年10月、昭和35年3月の2回、常呂川の氾濫で流されたという記録があります。どちらも橋が復旧するまでの間、対岸へ渡るために兩岸にロープを張り、磯舟で渡ったという記録が残っています。



*左の写真は、昭和33年、35年で流失するどちらかの日吉橋です。

*右：昭和25年12月11日落成の常呂町農協の家畜診療所日吉支所



*下：昭和25年頃の若原商店
オート3輪が写っている珍しい写真

